

にしきのわ

和・輪・話



〒669-2716

兵庫県丹波篠山市乗竹650

TEL：079-593-0024

FAX：079-593-0249

Email：el-nishiki@school.sasayama.jp



～地域が育て、地域が育つ学校～

(文責：藤原典英)

～学びひたり，教えひたる-「優劣のかなた」に寄せて～

五月に入り，校庭の木々が日に日に緑を深め，子どもたちの声も一層明るく響いている様に感じます。新学年がはじまってひと月余り。子どもたちは新しいクラス・新しい仲間・新しい学びにも徐々に馴染み，それぞれの教室で自分の学びに向き合う姿が見られるようになってまいりました。保護者の皆様，地域の皆様の温かい御支援に，心より感謝申し上げます。

さて，私が一教員として子どもたちを見つめる時，繰り返し思い起こす一篇の詩があります。国語教育に生涯を捧げた大村はま先生の「優劣のかなたに」という詩です。大村先生は，戦後の混乱期に中学校で国語教育の実践を切り拓き，半世紀以上にわたって子どもたちの言葉の力を育て続けられた教育者です。98歳で亡くなる直前まで推敲に推敲を重ねたこの詩には，先生が生涯をかけて辿り着かれた「子どもを育てるということ」の本質が，静かに込められています。

学びひたり 教えひたる、それは 優劣のかなた。
ほんとうに 持っているもの 授かっているものを出し切って、 打ち込んで学ぶ。
優劣を論じあい 気にしあう世界ではない、 優劣を忘れて ひたすらな心で、ひたすらに励む。

※一部のみ引用しています。

また，原典は縦書きで行を分けて表現されているところを，横書きで一行にして表記しています。是非原典を当たってください。

詩の中で大村先生は，「優か劣か」が話題になるところで，自分は仕事をしてはいないのだ，と語られます。一人ひとりが持っているものを出し切り，生かし切って育っていく。そこには優も劣もなく，ただそれぞれのががやきがあるのだ，と教え，示している様に思えます。そして大切にしたいのは，お互いの輝きに目を留め，たたえ合い，響き合い，「学びひたり，教えひたる」関係であるのだ，と訴えておられる様に考えています。

私はこの「学びひたり，教えひたる」という言葉に，本校がこれから目指す姿が映っている様に思います。子どもが学びひたる。大人が教えひたる。他の誰かと比べるためではなく，自分の中の願いに突き動かされて，学ぶことそのもの・教えることそのものに，深く浸り込んでいく。そこには，学ぶことそのものに純粹に没頭する一人の人間の姿が在ります。誰かと比べるわけではなく，自分自身を認め，肯定する姿。没頭するその姿にこそ，本物の成長が立ち上がってくるのではないのでしょうか。

本年度の学校教育目標は，「『在りたい自分』を創り，『在りたい未来』を拓く～自分の主人公として，共に学び・共に歩む～」です。子ども一人ひとりが歩む道は，誰かと比べるための道ではありません。自分の在りたい姿に向かって，自分の足で歩み続ける道です。そして，それぞれの道を歩む子どもたちが，互いの輝きを認め合い，響き合いながら育っていく。それこそが「自分の主人公として，共に学び・共に歩む」姿だと考えています。

そしてこの「学びひたる」「教えひたる」は，子どもだけの姿ではありません。4月号でもお伝えした通り，子どもの学びと大人の学びは相似形です。教職員もまた，自分自身の教育実践に向き合い，学び続け，教えに浸り続ける存在でありたい。保護者の皆様も，地域の皆様も，それぞれの場で自分らしい学びを楽しんでおられるその姿こそが，子どもたちにとって何よりの環境となります。

優劣のかなたで，それぞれが自分の輝きを磨き，響き合う。そんな西紀小学校・西紀の地域でありたいと願っています。これからも，子どもたちの「根」を，地域の皆様と共にじっくりと育ててまいります。お力添えを，何卒宜しくお願い致します。

☆田植えを行いました☆

五月の快晴のもと、本年度も川崎 剛様にお世話になり、全校で田植えを行いました。

「うわっ、足が抜けない!」「泥、あったかい!」澄んだ青空が水面に映る田んぼに、子どもたちの歓声が響きます。素足で泥に踏み入る瞬間の、あの感触。普段の生活では決して出会わない肌ざわり。どの子も最初は戸惑いましたが、やがて夢中になって植えていきました。

田植えは、お米という日々の食を、自分の手で育てる営みです。スーパーに並ぶお米の向こうに、水を張った田、差し出された苗、育ててきた人々の手、季節の移ろいがあるのだということを、言葉ではなく身体で知っていく。これに勝る学びはありません。

苗を一本ずつ植える指先には、「ていねいに」という心が宿ります。仲間と並んで進めば、誰かが遅ければ誰かが助ける。自然と協力が生まれます。秋には黄金色の稲穂が待っている。今日の泥が、半年後の収穫につながる。その実感を持てる子に育てて欲しいと願っています。



♪音楽朝会が始まりました♪

これまで朝会といえば、全校朝会・児童朝会・人権朝会・ふるさと朝会のみでしたが、本年度から「音楽朝会」が加わりました。音楽の専門家である萩森先生を中心に、全職員で子どもの表現する姿を引き出そうと取り組んでいます。

朝の体育館に全校が集まり、声を揃え、リズムを刻む。たったそれだけのことのように見えて、子どもたちは理屈ではなく身体で「ここに自分が居て良い」という感覚を確かめています。声が重なる瞬間、自分の声を出しながら隣の声に耳を傾ける。自分を出すことと他者を受けとめることが同時に起きる。自分も仲間も今ここに居るんだ、ということを実感します。リズムを表すときには、考える前に身体が動いています。自分自身の身体の「主人公」に立ち戻る時間。1年生の手拍子と6年生の足踏みが同じ拍に重なり、異年齢のつながりも音を通じて自然に立ち上がってきます。

「在りたい自分」の輪郭は、机に向かうだけでなく、声と身体を交わすなかで少しずつ結ばれていくものです。音楽朝会を、そんな営みに育てていきたいと願っています。



△6月の行事予定▽

1日(月)	運動会振替休業日	15日(月)	西紀連合自然学校一日目
2日(火)	学校安全の日	16日(火)	西紀連合自然学校二日目
3日(水)	5・6年生プール掃除	17日(水)	西紀連合自然学校三日目
5日(金)	5年生自然学校事前交流会	18日(木)	西紀連合自然学校四日目
8日(月)	人権朝会	19日(金)	西紀連合自然学校五日目
9日(火)	プール掃除		代表委員会
10日(水)	朝のお話会	22日(月)	ふるさと朝会
	3年生校外学習(市役所)		プール開き
11日(木)	下校見守り	25日(木)	クラブ活動
	プール掃除予備日		2年生校外学習※図書館
		30日(火)	6年生校外学習※奈良



◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい。
右のQRコードを読み取っていただくと、フォームにつながります。
または、学校でお話をうかがうことも出来ます。いつでもお越しください。

